

2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [兵庫県立芦屋国際中等教育学校] 担当教諭名 [新海 美幸・山中 邦子] (3年 A・B組 80名)

相手国・地域 [クロアチア]

海外学校名 [Privatna Sportska I Jezična Gimnazija Franjo Bučar] 担当教諭名 [Petra Zenic]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	探究	アートマイル(協働)	30
	学活	アートマイル(協働)	8

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	We can make the world peaceful and safe even if the fear of COVID-19 remains
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	COVID-19 is not the problem of just one country but the problem of the whole world and we <u>need to thank to all medical supporters</u> , fight together and show the sympathy and support each other. <u>We can make the world peaceful and safe even if the fear of COVID-19 remains.</u> コロナはただ一つの国だけの問題ではなく全世界の問題だ。だから、私たちはすべての医療従事者への感謝の気持ちを忘れずに、共に(コロナと)闘い、互いへの思いやりと支えあいを大切にしていこう。 <u>私たちにはたとえ、コロナが続いたとしても、平和で安心な世の中をつくる力があるのだ。</u>



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
今までよく知らなかった国の人たちと交流することで、視野が広がり、また、我々が思っている以上に日本のことを知っていることに驚いたりしたことで、生徒一人ひとりの心の中に相手国や相手校、交流している生徒のことを思いやる気持ちが育った。	COVID-19の影響が推測できなかったため、例年は1クラス40名で1校のパートナーであったところ、今年度は学年80名で1校のパートナーとして取り組んだ。そのため、1つの国、学校としか関わることができなかった。しかしながら、中身の濃い交流ができたと思う。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
相手国に関わる情報などに敏感な生徒も増え、広く知識や情報を得ることの大切さを実感しているように思える。 また、ズームで直接対話ができることで、相手のことを具体的に思い浮かべながら、活動に取り組むことができた。	生徒の理解が広がり、深まることで、教員の期待も高まり、生徒の活動の幅が広がった。 活動における生徒のそれぞれの成長がうかがえたことが何よりの喜びであり、教員のこの活動に対する動機付けの高揚の原動力となった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 ～ 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマイル活動の目的、相手国、相手校について知る。 ・自分たちの学校、地域、国について相手校に発信する。 	活動の意義や目的を理解し、相手国や相手校への理解に努め、発信する内容についても工夫を凝らした。	探究
共有 テーマ学習	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・COVID-19 やSDGsについて身の周りのことから情報収集し、班ごとにPPT等を作成。 ・共通のテーマについて考え始める。 	自国や相手国だけでなく、広く情報収集に努め、身近なことについての意見を述べるようになった。	探究
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ズームで直接対話する機会を得、また、フォーラムでの交換の情報を伝えることで、互いが納得できる共通のメッセージが生まれた。 	自分の意見を主張するだけでなく、クラスやグループで出た意見について配慮し、共通のメッセージをつくりあげることができた。	探究
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・下絵デザインの意見交換を通じてデザインが決まり、壁画について思いを共有し、制作にかかった。 ・壁画と並行して、相手校へ向けて様々な動画作成などを行った。 	それぞれが責任をもって、グループ活動や壁画制作に携わることができた。自分が受け取った側だったらどう思うかを考え、取り組む生徒が多く見られた。	探究 学活
評価 振り返り 自己評価	12月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・相手校に壁画やグループ制作を送り、その反響をきくことで、振り返りと自己評価を行った。また、壁画発送の前にはグループ活動の発表会を行った。 	長い活動の総仕上げとして発表会を行い、それぞれのグループが発表することで互いへの理解や思いやりの心が増したように思える。	探究

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	他国へ自文化の情報を発信する試みの中で、何をどのように伝えるかを議論することで、自文化について見直し、また相手国の文化を受け入れていく様子が生徒の発言からうかがえた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	様々な情報を取り入れ、解釈していこうとする中で、客観的に自分たちの地域や国の制度や文化について考えていこうと成長する姿が生徒の言動から見て取れた。
主体的に考え行動する力	5	壁画制作や他のグループ活動において、それぞれが意見や思いをきちんと表現し、テーマに沿って、明確な目標をたてて実現していこうとしていた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	様々なグループ活動の中で、互いを思いやり、協働していこうとする様子がうかがえ生徒の成長していく姿が頼もしく思えた。また、海外の相手校の事情や地域のニュースにも思いを馳せることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	グループ活動の中で芽生えた思いや意見を壁画や活動の中で仕上げた手製のマスクやカード、オリジナルの動画に十二分に表現できた。